

瀬戸内海環境保全特別措置法に 基づく事前評価に関する書面

年 月 日

実際に申請書を提出
する年月日を記載

「事前評価書」の添付について

特定施設の設置許可申請及び特定施設の構造等の変更許可申請には添付が必要
ただし、構造等変更許可申請であって、次のA、B、C、Dのいずれかに該当する場合、事前評価書は不要
(A、B、C、D1の「排水口」は、特定排水水を排出する排水口を指す)

- A 次のいずれにも該当
1. 特定施設からの汚水等の汚染状態の値及び量が増加しない(処理施設で処理しない場合)
 2. 汚水処理施設からの汚水の汚染状態の値及び量が増加しない
 3. 排水口の位置及び数並びに排出先を変更しない
- B 次のいずれにも該当
1. 排水口の位置及び数並びに排出先を変更しない
 2. 各排水口の排水水の汚染状態、水量が増大しない
- C 次のいずれにも該当
1. 各排水口の排水水の汚染状態、水量が増大しない
 2. 排水口の使用の全部又は一部を廃止(残る排水口の位置及び数並びに排出先を変更しない)
- D 次のいずれにも該当
1. 各排水口の排水水の汚染状態、水量が増大しない
 2. 間接冷却水、雨水等のみを排出する排水口の位置及び数並びに排出先の変更

申請者の住所及び氏名（法人にあつては所在地、名称、代表者名）

〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇-〇-〇
□□株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇

【法人の場合】主たる事務所の所在地、名称及び代表者名を記載。
工場長等が届出者となる場合は、法人の代表者から権限を委任されていることを示す委任状を添付、
【個人の場合】事業者の氏名、住所を記載

工場又は事業場の所在地及び名称

〒〇-〇〇
〇〇市△△1-1-1
□□株式会社
△△事業所

特定施設を設置等しようとする工場・事業場の名称、住所を記載

1 許可申請書の概要

(1) 特定施設設置(変更)の理由及び内容

申請書の別紙「申請事項内容」を同じ要領で記載

当事業所では、ドラム缶を製造しているが、増産のため、特定施設(63号ホ 廃ガス洗浄施設)2基及び(65号 酸又はアルカリによる表面処理施設)1基を設置する。

(2) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少(変らず)の場合はその理由

申請書の別紙「申請事項内容」を同じ要領で記載

廃ガス洗浄施設からの汚水(廃液)は、1回/6ヶ月で産業廃棄物処理業者に委託処分する。

酸又はアルカリによる表面処理施設からの汚水は、洗浄施設廃水処理施設で処理後、一部補給給水として使用するよう変更する。

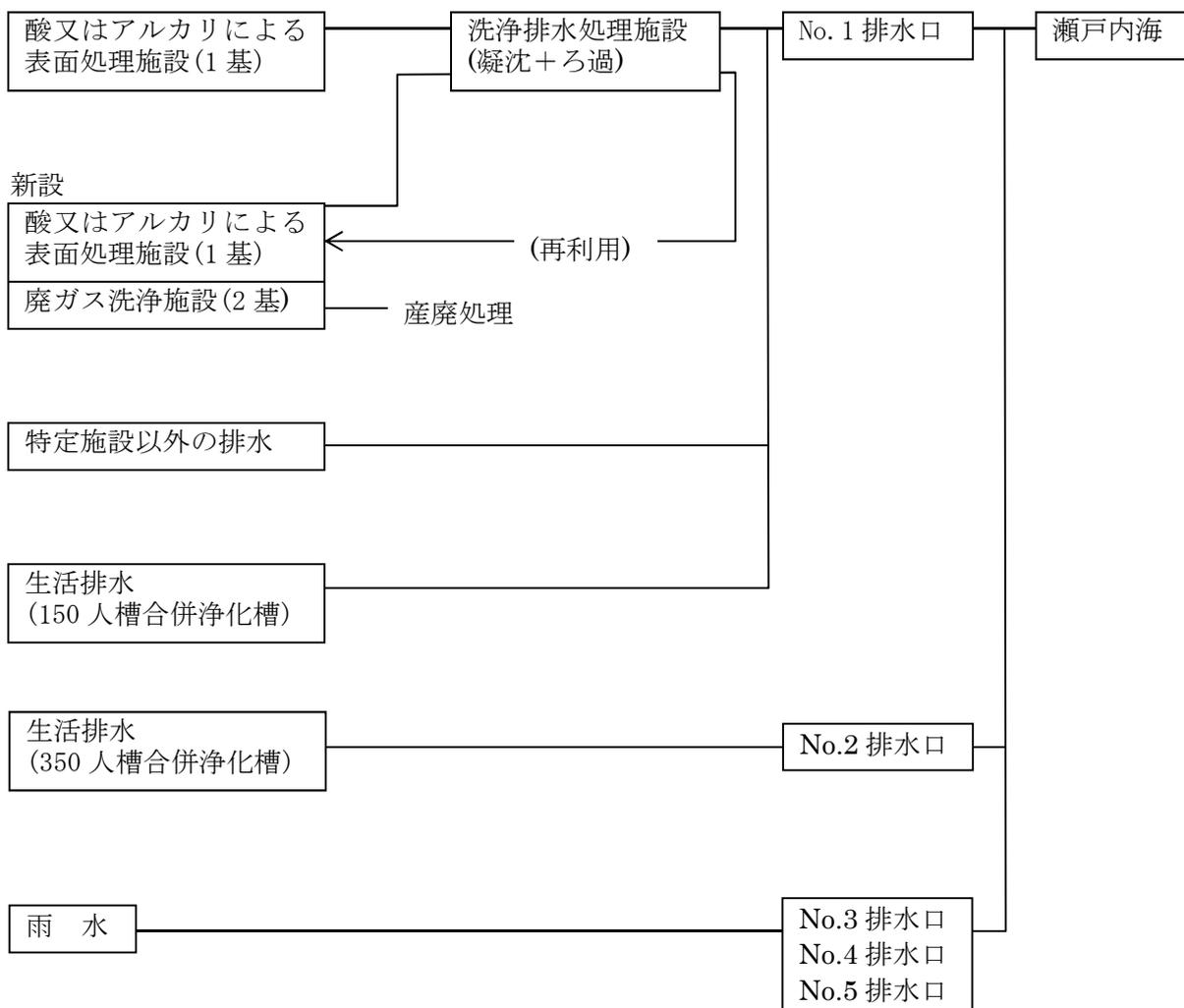
2 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業場の排水口の位置及び数

(1) 別図1、2のとおり

別図1は工場付近見取図で環境基準点を△印で表示し、別図2は工場排水経路図を添付

(2) 排水系統及び排水経路の略図

既設



3 工場・事業場の各排水口における排水の汚染状態の通常値及び最大値、
当該排水の1日当りの通常値及び最大値並びに当該排水の汚濁負荷量

排水口	区分 項目	現 状			設置(変更)後			負荷量 の増減
		通常	最大	負荷量	通常	最大	負荷量	
No. 1 排水口	排水量(m ³ /日)	100	130		変更なし			±0
	pH	6~8	5.8~8.6					
	BOD(mg/l)	12	30	1.56				±0
	COD(mg/l)	20	60	2.60				±0
	SS(mg/l)	25	70	3.25				±0
	T-N(mg/l)	12	60	1.56				±0
	T-P(mg/l)	0.9	4	0.117				±0
	n-ヘキサン抽出物含有量(mg/L)	1	2	0.13				±0
No. 2 排水口	排水量(m ³ /日)	50	70		変更なし			±0
	pH	6~8	5.8~8.6					
	BOD(mg/l)	20	30	1.40				±0
	COD(mg/l)	30	40	2.10				±0
	SS(mg/l)	50	70	3.50				±0
	T-N(mg/l)	40	60	2.80				±0
	T-P(mg/l)	4	6	0.28				±0
No. 3 ~ No. 5 排水口	排水量(m ³ /日)	雨水専用排水口			変更なし			±0
	pH							
	BOD(mg/l)							±0
	COD(mg/l)							±0
	SS(mg/l)							±0
	T-N(mg/l)							±0
	T-P(mg/l)							±0
合計	排水量(m ³ /日)	150	200		変更なし			±0
	pH							
	BOD(mg/l)			2.96				±0
	COD(mg/l)			4.70				±0
	SS(mg/l)			6.75				±0
	T-N(mg/l)			4.36				±0
	T-P(mg/l)			0.397				±0
	n-ヘキサン抽出物含有量(mg/L)			0.13				±0

※負荷量(kg/日)=最大排水量(m³/日)×通常水質(mg/l)×10⁻³

負荷量の増減=設置(変更)後の負荷量-現状の負荷量

4 工場又は事業場の排水口の周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

(1) 人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値	項目	基準値
カドミウム	0.003mg/L以下	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/l以下
全シアン	検出されないこと	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/l以下
鉛	0.01mg/L以下	トリクロロエチレン	0.03mg/l以下
六価クロム	0.02mg/L以下	テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下
砒素	0.01mg/L以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/l以下
総水銀	0.0005mg/L以下	チウラム	0.006mg/l以下
アルキル水銀	検出されないこと	シマジン	0.003mg/l以下
PCB	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02mg/l以下
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	ベンゼン	0.01mg/l以下
四塩化炭素	0.002mg/L以下	セレン	0.01mg/l以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/l以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	ふっ素	0.8mg/l以下
トリス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	ほう素	1mg/l以下
		1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下

備考：海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。

(2) 生活環境の保全に関する環境基準

影響範囲内の基準点(影響範囲内に基準点がない場合は直近の基準点)を記載、その他影響範囲内で測定データがある地点についても留意

排出先の河川、海域名	瀬戸内海			
環境基準点	〇〇港沖			
環境基準類型	C-Ⅰ、Ⅲ			
基準値	水素イオン濃度	7.0~8.3		
	生物化学的酸素要求量(mg/l)	—		
	化学的酸素要求量(mg/l)	8以下		
	浮遊物質(mg/l)	—		
	溶存酸素量(mg/l)	2以上		
	大腸菌群数(MPN/100ml)	—		
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	—		
	全窒素(mg/l)	0.6		
	全リン(mg/l)	0.05		

(3) その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

① ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準

ダイオキシン類	1 pg-TEQ/L
---------	------------

② その他
なし

5 周辺公共用水域の水質の現況及び排水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度

(1) 周辺公共用水域の水質の現況（海域）

測定月日 平成〇〇年〇月 日 ～ 平成〇〇年〇月 日（〇〇回）

測定分析機関名 平成〇〇年度公共用水域の測定結果

海 域 名	瀬戸内海	測定点名	〇〇港沖
-------	------	------	------

水質の現況	月 日	時刻	採水部位	水温℃	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	n-Hex (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	DO (mg/L)	
	水質の現況	月 日	干満の別：	表層								
中層												
平均												
月 日		干満の別：	表層									
			中層									
			平均									
月 日		干満の別：	表層									
			中層									
			平均									
月 日		干満の別：	表層									
			中層									
			平均									
月 日	干満の別：	表層										
		中層										
		平均										
範 囲						1.1 ～3.0	ND ～ND	<0.5 ～0.5	0.18 ～0.55	0.015 ～0.06	6.8 ～11	
総 平 均					8～8.3	1.9	ND	0.5	0.33	0.035	7.8	
将来水質					—							

測定点毎に用紙をかえること。

(2) その他当該水域に関する事項

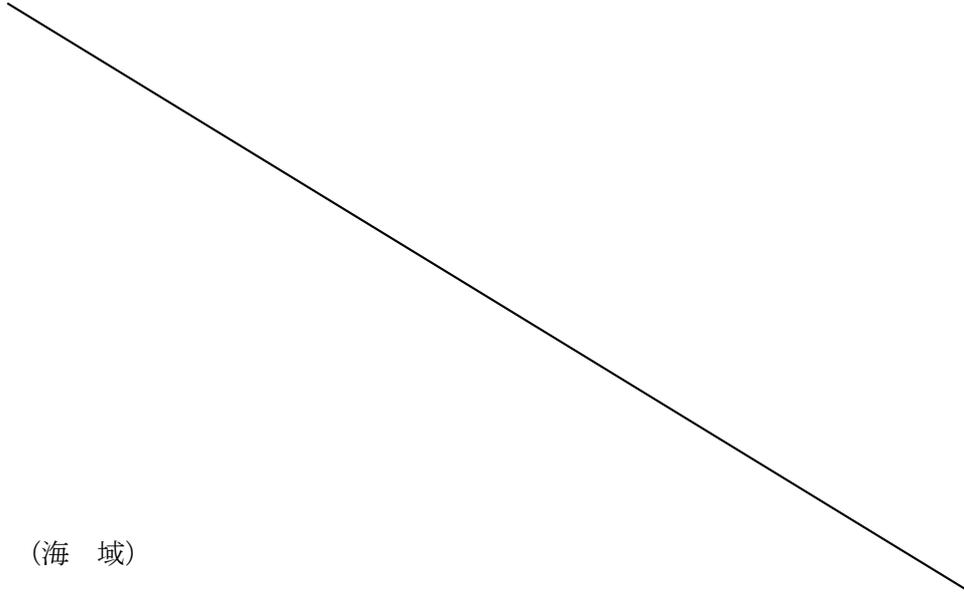
(3) 予測の方法

① 汚濁負荷量の増加の有無 (有・無)

(ただし、汚濁負荷量の増加がない場合は②③を省略する)

② 排出水の公共用水域での影響範囲

(河川域)



(海 域)

新田式($\log (r^2 \theta / 2) = 1.226 \log Q + 0.086$)から求めた周辺公共用水域の外縁までの距離 (r) は m です。

$\theta =$

(拡散角度：ラジアン)

$Q =$

$m^3 / 日$ (最大排水量)

③ 予測の手法
(海域)

ヨーゼフ・ゼンドナー式 $C = 1 - \exp \left[- \frac{Q}{\theta dp} \left(\frac{1}{X} - \frac{1}{l} \right) \right]$ から求めた

希釈率Cは次の通りです。

C ($r/3$ の地点) =

C ($2r/3$ の地点) =

- (注) $Q =$ $\text{m}^3 / \text{日}$ (最大排水量)
 $\theta =$ (拡散角度)
 $d = 2 \text{ m}$
 $p = 864 \text{ m} / \text{日}$
 $x =$ m m ($r/3$ 、 $2r/3$ の距離)
 $l =$ m

$S' = S_1 + (S_0 - S_1) \cdot C$ から将来水質を予測すると

$r/3$ の地点

S' (COD) = + (-) \cdot =
 S' (SS) = + (-) \cdot =
 S' (T-N) = + (-) \cdot =
 S' (T-P) = + (-) \cdot =

$2r/3$ の地点

S' (COD) = + (-) \cdot =
 S' (SS) = + (-) \cdot =
 S' (T-N) = + (-) \cdot =
 S' (T-P) = + (-) \cdot =

6 その他当該特定施設の設置等が環境に及ぼす影響についての事前評価に関し参考となるべき事項

なし